

# 平成27年度 自己評価結果公表シート

学校法人 常楽寺学園 認定こども園 穂積幼稚園

## 1. 本園の教育目標

[保育目標] 生活・あそび・行事を通して

意欲や興味を育てる

豊かな創造性・感性を育てる

良心を大切に守り、育む

よく考える力・学びへの意欲を育てる

[保育理念]

子どもの そのままの姿を受けとめよう

いきいきと取り組んでいる姿や 熱中した状態を大切にしよう

たくさん抱きしめよう

たくさん失敗ができる場所にしよう

「ほんものもつ力」を大切にしよう

みんなで 子どもの成長や発達を喜び合い 協力し合いながら成長しよう

[先生が大切にしたいこと]

子ども一人ひとりが 自分からやれる環境を用意し、遊びたくなる環境、いきいきと取り組みたくなる環境を工夫します

子ども一人ひとりを たくさん抱きしめ 心に寄り添います

保育者は 真・善・美の価値観を意識し 子どもにとって 心の拠り所として よき理解者支援者として 共同作業員として

遊びでの援助者として あこがれの存在になります

保護者とともに 子どもの成長や発達を喜び合い 大人も子どもも 協力し合いながら成長できる環境を用意します

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念、教育目標、幼児教育要領をより深く理解し、生活教育としての基盤をより深いものになるための振り返りを積極的に行う。

## 3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	取組み状況
幼稚園教育要領の理解	幼稚園教育要領を再確認し、職員間で話し合い、理解に努めた。また、平成27年度の制度改革により新たな法律や条例が施行されたため、幼稚園教育要領と共に理解を深めた。
子育ての支援についての理解	当園の子育て支援事業「わんぱーく」に参加していただいた地域の方を対象に聞き取り調査を行った結果、地域に子育て支援の場所が少ない状況であることが把握できた。今後は、調査した結果をもとに子育て支援事業を計画する方向である。
保育者としての専門性に関する 研修・研究	幼児の発達理論や記録の取り方、考察の仕方に関する研修や研究を行ったが、一人ひとりの子どもの発達や考察、理解は教育・保育を計画するうえでの根幹となるため、次年度でも計画する。
食育活動や給食の内容の 充実を図る	平成27年度から給食業者が変更になったため、献立や味付けは良くなったが自園給食の内容ほどではないため、引き続き自園給食への取り組みを継続する。 また、認定こども園に移行したことで栄養士の配置が可能となった。今後は栄養士・担任の保育教諭と共に食育を計画し「自分で世話をしたものを食べること(食育及び労働)など」をねらいにより内容を充実していきたい。
職員の労務環境の整備	時間外業務(残業)等の労務環境を見直し、社会保険労務士とともに最新の就業規則に整備した。今後は時間外業務(残業)等を見直し、保育教諭の負担軽減に努める。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、取組み状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができた。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
新たに施行された法律や条例 幼稚園教育要領の理解	制度改革により新たに施行された法律や条例の理解を深めると共に、幼稚園教育要領を再確認し、職員間で話し合い、理解に努める。
保育者としての専門性に関する 研修・研究	幼児の発達理論や一人ひとりの子どもの特性や個性、思いを共感し、理解を深めるために園内研修を行う。
幼児教育のアクティブ化	従来の幼児教育のスタンスやルールを見直し、子どもが主体的に、仲間と共に考え、教え合うという手法の研究を行う。 アトリエ等を利用しワークショップ等を計画する。
認定こども園に移行による 行事の見直し	認定こども園に移行することで、学期ごとに行っていた避難訓練の回数が毎月1回になることや、園医による内科検診・歯科検診の他に、眼科や耳鼻科の検診が可能となった。さらに、看護師の配置も可能となったので、安全や保健等の行事や内容を見直す。

#### 6. 学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

#### 7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。